

○うしづま水辺の楽校における地域住民・静岡河川事務所・静岡市等による組織や活動の歴史

H11年10月	前身となる「安倍川フォーラム」が、「みずべの学校構想」を提案
H14年11月	安倍川中流域「子どもの水辺協議会」がスタート
H16年3月	「水辺の楽校プロジェクト」に「うしづま水辺の楽校」が登録
H20年3月	「うしづま水辺の楽校」完成
H20年4月	「うしづま水辺の楽校世話人会」結成
H20年12月	桜並木整備に関する地元要望
H21年5月	「牛妻地区かわまちづくり事業」がかわまちづくり計画に認定
H21年7月	「うしづま水辺の楽校」開校
H21年8月	「牛妻地区かわまちづくり協議会」設立
H22年11月	静岡市道路保全課による「水辺の散歩道」が完成
H23年2月	地域住民による「側帯」及び「水辺の散歩道」沿線に桜を植樹
H23年4月	地域住民による「しずなか桜公園愛護会」設立(会員:約80名)
H23年5月	「うしづま水辺の楽世話人会」が日本河川協会の河川功労者を受賞
H25年3月	静岡河川事務所による「緩傾斜堤」、「高水敷水路」が完成
H25年3月	静岡市公園整備課による「しずなか桜公園」が完成
H28年12月	「うしづま水辺の楽世話人会」が河川協力団体に登録
H28年12月	「うしづま水辺の楽世話人会」が「中部の未来創造大賞」の優秀賞を受賞
H29年12月	「うしづま水辺の楽世話人会」が「手づくり郷土(ふるさと)賞」に認定
R5年2月	「牛妻地区かわまちづくり協議会」で、維持管理を含めた将来の運営体制を協議。河川空間のオープン化により「うしづま水辺の楽校世話人会」が屋台等を実施し、その収益費用を施設や河川敷の維持管理費やイベント実施費に活用する方針を決定。
R5年5月	「牛妻地区かわまちづくり協議会」を「牛妻地区水辺利用調整協議会」に変更
R5年7~8月	河川区域内で社会実験を実施。 「うしづま水辺の楽校世話人会」によるかき氷等の販売や屋外広告物による収入を得る
R6年7月	都市・地域再生等利用区域の指定。指定後初めての「うしづま水辺の楽校」を開催
R7年2月	「牛妻地区かわまちづくり」が「かわまち大賞(国土交通大臣賞)」を受賞

○国土交通省のYouTubeでうしづま水辺の楽校が紹介されています。

牛妻地区かわまちづくり～令和6年度かわまち大賞を受賞！～

<https://www.youtube.com/watch?v=du2eItQjw8>

